

日本共産党 西宮市会議員団ニュース

(発行) 日本共産党西宮市会議員団 (2011・12・25 No. 578)
西宮市六湛寺町 10-3 (西宮市議会内)
TEL35-3368 FAX・22-7815
Eメール・nmc30547@nishi.or.jp
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

12月議会が終わりました。上田、まつお議員が一般質問を行いました。「食材の放射線被曝における学校給食体制」についての請願「西宮市立小学校・中学校にできるところからエアコン設置を求める請願」等6件の請願の紹介議員(5件は筆頭紹介議員)になり、みなさんの要望を実現するために頑張りました。

国民健康保険の (窓口払い) 減免制度の活用を



医療機関窓口での3割支払いが困難な被保険者に対し、その費用を減免できることは、国民健康保険法第44条によって定められています。西宮では、昭和58年より、同制度の実施を要綱で規定していますが、

平成14年度からの9年間で99件の活用しかありません。

上田議員は、広島市では年間2000件以上も活用されている実態をしめし、違いはどこにあるのかと質問しました。本市では、「3か月以内に傷病が完治・治癒見込みが条件になっているが、市の要綱では、療養見込み期間が3か月以内である場合・・・となっており、決して治療完治が申請要件にはいっていないではないか」と、追求しました。当局は、「今後は、パンフ、ホームページ、市政ニュース等について、要綱の表現に統一し、市民に周知を図る」と答弁しました。

盤滝トンネルの早期無料化、はね橋の開閉についても質問しました。

住宅リフォーム助成制度 実現の方向へ



住宅リフォーム助成制度、公契約条例、平和行政について質問しました。住宅リフォーム助成制度を行う自治体が、4県と382の市町村に広がっています。団の視察で行った、広島県廿日市市の担当者が、「市民にも事業者にも喜んでもらえる制度で、職員も市民に感謝される良い制度です」と、話していたことも紹介しました。

答弁で、「現在策定中の第2次産業振興計画(素案)に住宅リフォーム助成制度が盛り込まれたこと」が、明らかになりました。

まつお議員は、来年3月にその具体案が示されることから、「来年度の当初予算に間に合わなければ、年度途中で補正予算を組んでも、実施すべきだ」と強く求めました。議会内外の運動で、この制度が実現の方向へ大きく進みだしました。



学童保育の 指定管理者公募はやめて!

市の学童保育所(留守家庭児童育成センター)は、非公募で2年、公募で4年で運営され、短期間で指定管理者が変わることに、保護者や子どもたちから不安の声が出されています。

今議会では、鳴尾、香櫨園、上ヶ原南、段上西の4学童を公募、その他の学童は非公募の議案が、提案されました。同時に、鳴尾学童保護者等から、「学童を指定管理者から外してほしい」との陳情も出されました。日本共産党は、公募の議案に反対、陳情は賛成しました。他の会派の議員も「親や子どもの不安な気持は理解できる・・・」と言いながら、議案に賛成、陳情には反対しました。子どもの保育に指導員が変わる指定管理者はなじみません。学童のあり方について、関係者の議論が必要ではないでしょうか。



アサヒビール西宮市立中央病院 工場跡地に移転検討

市長は、老朽化が進む市立中央病院の移転先について、来年8月末に閉鎖が予定されているアサヒビール西宮工場の跡地の一部を購入して新築移転する基本構想を発表しました。2010年11月から外部有識者による検討委員会の答申では、今年9月、阪急西宮北口駅近くの県立芸術文化センター第2駐車場(市有地)への新築移転が最適と、したものです。

市は、交通の利便性や土地の利用しやすさを考慮し、方針を決定したと説明。

土地代を含めた総工事費は82億円前後になり、今年度中にアサヒビールと交渉、市民から意見を聞いて確定したい意向です。



市立中央病院(市のホームページ)